

下水汚泥や 地域バイオマスを集約



固形燃料化施設を起点としたエネルギー循環



バイオガス発電設備で電気供給



地域の再生可能エネルギー工場へ

くらしと未来をささえつづける下水道へ！

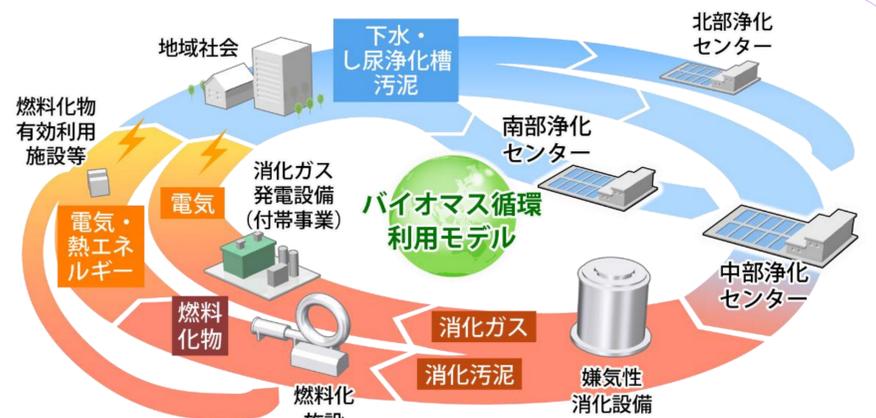
中部浄化センター リノベーション計画スタート

エネルギー供給拠点化

- 下水汚泥や地域バイオマス（地域から発生するし尿・浄化槽汚泥や植物由来のバイオマス）を下水処理場に集約する
- 集約した下水汚泥等を利用し、バイオガス発電設備で発電した電力を地域へ供給することや、製造した固形燃料化物を原料とした熱エネルギーを下水処理場で活用し下水処理場内のエネルギー循環を図る

憩い・賑わいの拠点化

- 中部浄化センターにおいて、地元小学生等を対象とした親子下水道教室や、地元住民を対象とした現地見学会を実施し、下水道の役割等に関する市民意識の醸成を図るとともに、地産品（野菜等）の配布等のPRを通じて地域の活性化を図る



- 持続可能な下水道事業経営や循環型社会への実現に向けて、下水道リノベーション計画を策定し、下水汚泥や地域バイオマスの利活用を通じて、エネルギー供給拠点化、憩い・賑わいの拠点化を目指す
- 老朽化したし尿処理場等を廃止し、下水処理場に処理機能を集約して効率的な生活排水処理体制を構築するとともに、処理機能を集約する下水処理場に固形燃料化施設やバイオマス発電設備等を整備し、下水汚泥や地域バイオマスを再生可能エネルギーとして利活用を目指す
- 下水処理場から地域の活性化を目指す

下水道事業
による
効果事例